

Seize the fortune by the forelock

幸運の女神には前髪しかない

雨が降りしきる中での試合は、想像以上に選手に負荷をかけ、戦略戦術にも影響する。しかし試合早々、#39廣長晃太郎のキックオフリターンタッチダウンで得点。幸先のいいスタートを切り試合は、前半は7対3と明治のリードで折り返す。

後半もリードし攻めていきたかったが、守れず先に日大にTDを奪われてしまう。ゴール前のグリフィンスディフェンスは、ボールに果敢にアタックし、はじき出したものの、そのボールをグリフィンスは抑えられなかった…。

追うグリフィンスは第4Q、残り2:03、3down、ゴールまで2ヤードからTDが取れず、フィールドゴールを選択。3点追加し10:9と逆転に成功する。ここで日大に攻撃時間を残したのは痛い。1点差はTDならずともフィールドゴールで逆転されてしまう。日大のパスオフェンス力を考えれば、雨の中とは言え逆転は射程距離だ。

昨年の試合を彷彿とさせる時間の残し方。ディフェンス陣の頑張りをひたすら祈るしかない状況。

悪夢再来

得点のチャンスは随所にあったものの決まらない。女神の前髪は確実に見えていたはずだ。しっかりその手で握るには、覚悟と練習が必要なようだ。

	1Q	2Q	3Q	4Q
明治大学	7	0	0	3
日本大学	3	0	6	3

桜美林大学戦・みどころ

昨年、入れ替え戦を制することが出来ず、BIG8に降格した桜美林大学。

佼成学園時代から活躍しているQB #8近田力（3年）率いるオフェンスは、ロングパスを含めた攻撃を展開すると思われる。

迎え撃つグリフィンスディフェンス陣は、#99今熊力丸の速いラッシュをはじめとし、近田を自由にさせないことが完封のカギとなる。オフェンスはこれまで通り、ラン、パスを織り交ぜ多彩な攻撃を仕掛けることで得点を重ねることが可能になるだろう。

5月14日(日)11:00 kick off